

ありがとうサクラ開花情報

札幌

札幌北極病院のエゾヤマザクラです。北海道は春の記録的な寒さで開花が遅れていました。しかも開花宣言見込みの日から天気が悪く、5月16日ようやく晴れ、半ばあきらめながらでかけました。

観覧会も桜の開花待ちで会期を延長するよう有様でしたので、4月の下旬から3週間、まだまだまだかと思いつめてやつと満開の桜を見ることができました。添え木に支えられていた、親指だけだった幹も、すっかり太くなってこれからの成長が楽しみです。(秋田の会 菅)



(北海道協会 加藤)

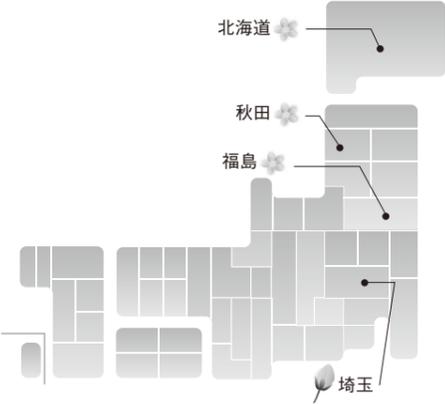


福島

3本のしだれ桜を、骨髄移植1万件、臍帯血移植5千件を記念して、パンダハウスに記念植樹していただいたのは、雨が降る4年前の4月25日でした。植樹をしたばかりの頃は、まだまだ弱々しく見え、パンダに馴染み根づいてくれるかどうか不安でした。ご紹介いただいた菊田先生など、病院の帰り道にパンダハウスへ寄って水をかけてくださっていました。

また、植えていただいた場所が駐車場のすぐそばだったので、

ありがとうサクラ地図



●秋田
記念植樹から4年、秋田大学病院の前庭に移植した「福祿寿」が5月10日過ぎに満開になりました。昨年は控えめに数輪咲いた桜でしたが、今年は見事に盛大に咲きました。今年は春の訪れが遅く、いつまでも雪が降るような寒い日が続いて、各地の

が植えられています。4月中旬に訪問したところ、さいたまセンターではピンク色の蕾が2つ付いていました。



今年冬などは、特に雪が多く雪かきも大変で、しだれ桜が咲く春がいつくるのか...と思いがふくらんできたのを見た時は、「あゝ春がやってきた!」と、それは嬉しいことでした。皆で大切に育てた「しだれ桜」は写真のように優美な樹木となり、今年もこんなに美しく咲いてくれました。

これからパンダハウスの利用者さんだけでなく、地域の私たち、そして私たちスタッフにとつて心を和ませてくれる存在であり続けてくれるであろうと確信しています。本当にありがとうございました。(NPO法人 パンダハウスを育てる会 理事長 山本)

●埼玉
県内には、自治医科大学さいたま医療センター(以下、さいたま医療センター)、埼玉医科大学総合医療センター(以下、川越センター)と日高市にある国際医療センターの3か所に「福祿寿」



が植えられています。4月中旬に訪問したところ、さいたまセンターではピンク色の蕾が2つ付いていました。

各地のたより

三重 鈴鹿サーキットで激走啓発!

5月18日、三重県の鈴鹿サーキットで開催された、鈴鹿6時間エンデューロ(自転車耐久レース)に「なら骨髄バンクの会」から2チームが出場。メンバーの松田は1人で6時間、岡田・近藤・中村・筒井の4人はリレー形式で参加しました。全員背中に「骨髄バンクに登録してね!」という張り紙、ビッド入口には骨髄バンクのキティちゃんののぼりを上げ、目一杯アピっていました!



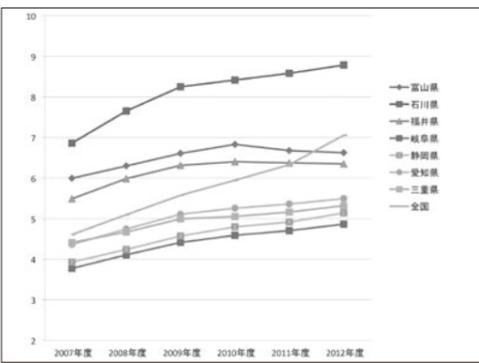
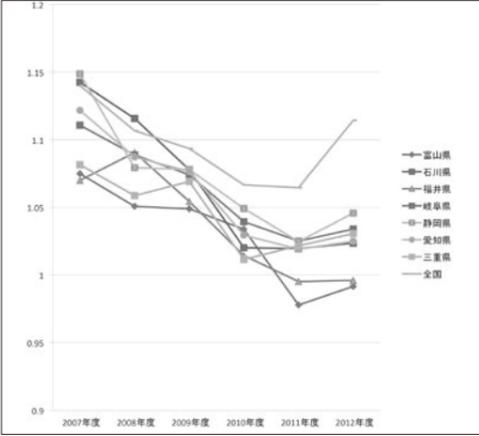
ロードタイプの自転車に乗るのが初めてのメンバーも多く、ペラペラのサドルにお尻が痛いとか、膝が痛いとか、腰が痛

グラフで眺めるドナー登録の推移

東海・北陸編

今回は、東海・北陸編です。これまでに掲載済みの北海道・東北編、および関東・甲信越編との比較の関係で、昨年11月末

時点でのデータをもとに本稿を起すことをご理解願います。本紙247号および251号をお持ちの方は、北海道・東北



グラフ1、2共に中央骨髄データセンターの資料から作図

川越センターではまだ蕾もありません。福祿寿の春はもう少し先のようにです。(埼玉の会 笠原)

おおよび関東・甲信越のグラフを並べてご覧いただきたいのですが、東海・北陸のグラフは非常にコンパクトです。登録者数の前年度からの増加率(グラフ1)も、単人口当たりの登録者数(グラフ2)も、県ごとのばらつきが判然とせず、全体に似たような折れ線グラフになっています。別に横並び意識が強いわけではないのでしょうか、あたたかも近隣の県と歩調を合わせるがごとく、過去5年間にわたり、同じような傾向のグラフで表されています。

グラフ1をみると、このエリアでは登録者数の前年度数からの増減率については漸減傾向が続いており、昨年度に若干の持ち直し傾向が認められたものの、他地域、たとえば北海道・東北エリアにおける青森・山形・宮城・福島や、関東・甲信越エリアの栃木・埼玉・群馬のように、劇的な増加を示した県はありません。単人口当たりの登録者数(グラフ2)についても、大半の県で微増にとどまっていますが、福井県では2年前から増減がなく、富山県では残念ながら3年連続で減少しています。偶然にも東海4県で全国平均を下回り、北陸3県で上回る状況が長い間続いていたのですが、昨年度、富山・福井両県が全国平均を下回ることとなり、全国的にみると東海・北陸エリアはドナー登録が伸び悩んでいるように見えるかもしれません。とは

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW

(財団マンスリー JMDP (4月15日発行) より抜粋)

●厚生科学審議会疾病対策部造血幹細胞移植委員会の議論の状況について
「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の施行に向け、厚生科学審議会疾病対策部造血幹細胞移植委員会が昨年12月から計7回開催されています。これまでの委員会では、法律に基づき国が策定する造血幹細胞移植に関する基本方針についての議論が行われてきました。具体的には、①造血幹細胞移植の需要予測は難しいものの、高齢者の増加に比例して、当面、造血幹細胞移植を必要とする患者は増加する、②患者や国民、医療従事者も含めて知りたい情報を手軽に入手できる情報の一体的提供が必要、③一元的に患者登録を行う仕組みが必要、④より早期の移植のためには医療機関における骨髄採取のための定期的な手術室の枠の確保が望ましい、⑤末梢血幹細胞移植の更なる普及が望ましい、といった議論がなされました。今後、基本方針のほか、事業の許認可やガイドラインに関する議論等も、今年9月頃に取りまとめが行われる予定です。

◆日本骨髄バンクの現状(平成25年4月末現在)

	3月	4月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,903	2,433	430,768	578,354
患者登録者数	238	253	3,042	38,541
移植例数	108	98	-	15,487

■4月の年齢別ドナー登録者数(現在数)
10代 2,946人 / 20代 71,705人 / 30代 152,302人 / 40代 162,797人 / 50代 41,018人
■3月の20歳未満の登録者数307人
注) 数値は速報値のため次月以降に訂正される場合があります。平成24年7月より集計方法が変わりました。

こんにちはは募金箱 その45

喫茶店「モンキーヒル」(大阪府箕面市)

大阪府箕面市は、関西では滝とお猿さんから有名な地域です。そのお猿さんから店名が連想できる「モンキーヒル」という1971年創業の食事もいただける老舗喫茶店があります。全体にヨーロッパ調イメージで屋根も高く、席数も100席とゆつたりくつろげます。募金箱設置は、奥様を白血病患者で亡くされ、その後熱心に骨髄バンク運動をされた一野清一郎さんとマスターのお兄様が同級生だったことがきっかけでした。



(森脇)